

# TS カレッジレポート

vol.8  
2012.10

## 東京聖栄大学報



東日本大震災被災地支援（福島県塙町）〈関連記事 16ページ〉

### ● C O N T E N T S ●

学長挨拶.....	2	学友会／後援会・聖栄会／公開講座.....	10・11
College photography / Student's view .....	2・3	平成23年度決算報告 .....	12・13・14
卒業式・入学式／研究／人事異動.....	4・5	教育研究施設設備拡充資金.....	14
管理栄養学科・食品学科の活動.....	6・7	大学附属わたなべ幼稚園／学生募集要項.....	15
学生支援センターの活動.....	8・9	大学トピックス.....	16

## 学長挨拶



理事長・学長  
福澤 美喜男

大学は7年に一度、第三者評価を受ける義務があり、本学は昨年10月に日本高等教育評価機構による第三者評価を受審した結果、16ページにあるような評価結果を受領した。今後更に7年後に向かって、自己点検評価を続ける必要があり、その一環として4号館、5号館のバリアフリー化を行うために、まず7号館（現在建築中）の建築後、4号館の設備を移してから順次4号館、5号館のバリアフリー化を行う予定である。

管理栄養学科の第26回国家試験の合格率は93.7%であった。例年1点、2点に泣く人が出るが、受験勉強のスタートが遅い人である。合格率を高める為には、低学年のうちから学生同士で学習意欲を高め合う雰囲気作りをすることが大切であると考えている。

次に食品学科の最近の求人傾向は物事に意欲的に取り組む積極性のある人を要求している企業が多く、海外勤務の求人も出始めていることから、社会的ニーズに答えるためにもボランティアやインターンシップを通して、積極的な行動ができる人材を育成する教育が益々必要であると考えている。

## College photography



柴又宵まつり (柴又帝釈天 H23.9.17)



東京都食育フェア  
(代々木公園 H23.10.8-9)



防災訓練 (新小岩公園 H23.10.19)



聖栄葛飾祭 (H23.11.5-6)



葛飾区社会福祉協議会に大学祭チャリティ一金持参 (H24.1.27)



学内業界・企業説明会開催  
(H24.2.14-15.17)



食品学科食事情海外視察研修  
(イタリア H24.2.16-23)



卒業式 (H24.3.20)

平成23年度  
東京聖栄大学卒業式



卒業パーティー (H24.3.20)

# Student's view

## 学生FDサミットへの参加 4FA 萩原 雄治・3NA 五木田 周・2NA 大山 茜

8月25・26日、立命館大学衣笠キャンパスで開催された学生FDサミットに参加した。FDサミットとは大学教育の改善について、全国の大学の学生、教員、職員の三者が一体となって取り組む学生主体のイベントである。各大学における取り組みの紹介や意見交換をし、年2回継続して行うことでより良い大学のあり方を考えていく取り組みである。

他大学が行っているFD活動を一部紹介すると、学生アシスタント (SA/TA) やしゃべり場といったものがある。学生アシスタント (SA/TA) は円滑な授業進行のための活動、しゃべり場は学生同士または学生と教職員が自由に話せる場を設け、テーマに基づいて話し合う活動である。

FD活動が活発な大学に共通することは学生、教員、職員の三者が歩み寄っているということだ。より良い大学であるためのより良いとは何なのか？三者が歩み寄り、ベクトルを合わせて手段を模索していく必要がある。



入学式 (H24.4.1)



部・同好会説明会 (H24.4.10)



学友会総会・新入生歓迎会 (H24.4.16)



奨学金授与式 (H24.5.17)



体育祭 (H24.5.28)



振り込め詐欺被害防止キャンペーン (新小岩駅南口広場 H24.6.10)



3年次生就職マナー講座 (H24.7.9)



学生との意見交換会 (H24.7.12)



楽しい音楽会と夏の夜店祭り (新小岩北口広場 H24.8.18-19)

# 卒業式・入学式

## 平成23年度 卒業式



平成23年度卒業式が平成24年3月20日（火）、わたなべ記念館において行われ、管理栄養学科87名、食品学科40名の計127名が新しい門出を迎えた。

式は学位授与で始まり、管理栄養学科は古賀幹菜さん、食品学科は鈴木裕貴さんが代表して学位記を受

領した。表彰者は、学長賞に鈴木裕貴さん、優秀賞は藤井厚志さん、岸野智美さん、古賀幹菜さん、宮本理恵さん、渡邊宏美さん、わたなべ奨学・奨励基金特別賞（地域貢献）に宮崎紋加さん、同特別賞に常世田望さん、中村尚央さん、藤井厚志さん、渡邊美菜子さんが選ばれた。全国栄養士養成施設協会会長賞は古賀幹菜さん、日本フードスペシャリスト協会会長賞は鈴木裕貴さん、食品科学教育協議会会長賞は島岡智里さんが

受賞した。その後、学長式辞、ご来賓祝辞、在学生代表萩原雄治さんの送辞、卒業生代表野澤勇氣さんの答辞と続き、吹奏楽同好会の演奏で校歌と蛍の光を斉唱して式は終了した。

## 平成24年度 入学式

4月1日（日）、わたなべ記念館で平成24年度入学式が挙行され、健康栄養学部管理栄養学科86名、食品学科91名、合計177名の新入生を迎えた。

福澤美喜男学長は式辞で、大学の沿革と建学の精神および、校訓について触れた後、これからの学生生活について、管理栄養学科は四年後には国家試験があり各専門科目のガイドラインの範囲から出題され、その範囲は広く且つ深く勉強しなければ合格は望めない。食品学科では食品産業界の現状は食品の生産拠点を海外に置き、食料需給率では60%が輸入に頼っている現状を考えると、食品産業界で働

くためには専門科目と同様に語学力をつけることが大切であると述べられた。

この後、新入生代表出水貴大さんが新入生宣誓を行い、来賓祝辞、祝電披露に続いて校歌を斉唱し、式は厳粛なうちに無事終了した。



# 研究

## 平成24年度 特別研究・共同研究

本研究費取扱要項第2項及び第3項の規定に基づき、特別研究・共同研究を毎年度募集しており、申請された研究課題については、研究推進委員会において審査し採否の決定をしている。本年度の特別研究・共同研究計画申請について、以下の表の通り採用決定した。  
なお、今年度の特別研究・共同研究予算から若手教職員の育成を目的として、1,890,000円を育成資金として研究助成に当てている。

代表申請者	研究別	研究経費(円)	研究課題
橋場 浩子	特別	300,000	煮物における食材中へのNaClの拡散に関する研究
前田 宜昭	特別	600,000	半脱脂米糠加工食品が生体の生理的調整機能に及ぼす影響について（Ⅱ）
岡本 直也	特別	200,000	多変量標本尖度を用いた正規性検定統計量
片山 佳子	特別	600,000	ガックフルーツの機能性について
鈴木 和枝	共同	400,000	わが国における糖尿病診療と教育活動の実態（第5報）—2012年度全国アンケート調査より—
長須 正明	共同	550,000	東京聖栄大学における初年次教育プログラムの開発と検証 —リテラシ教育・導入教育・リメディアル教育を中心にして—
荒木 裕子	共同	400,000	茶類の成分分析と機能に関する研究 —とくに国産茶葉について（その4）—
橋場 直彦	共同	210,000	青年期女子における肥満の危険因子に関する検討—特に運動習慣、食習慣および生活習慣病の家庭歴を中心に—（第4報）
新村真由美	共同	250,000	食育サポーター事業in葛飾区
大塚 静子	共同	600,000	ラットにおける飼料中のCa/P比ならびに脂肪量の違いが腎石灰化に及ぼす影響

# 人事異動

(順不同 敬称略)

## 〈教 員〉

昇任 平成24年4月1日付

准教授 新村真由美

採用 平成24年4月1日付

教授



田所 忠弘 (たどころ ただひろ)

昭和47年 東京農業大学大学院農学研究科  
農芸化学専攻博士課程中退 農学博士

東京農業大学農学部、応用生物科学部教授、同大学院  
農学研究科教授を経て本学教授

担当教科「生化学Ⅰ」「同Ⅱ」「食品学各論Ⅰ」「同Ⅱ」

教授



加沢 恒雄 (かざわ つねお)

昭和51年 東北大学大学院教育学研究科博  
士課程単位取得満期退学 広島工業大学教

授を経て本学教授

担当教科「英語Ⅰ」「同Ⅱ」

非常勤講師 (新規委嘱) 平成24年4月1日付

佐藤 哲司 (さとう てつし)

担当教科「英語Ⅰ」「同Ⅱ」

谷川 昇 (たにかわ のぼる)

担当教科「環境衛生学」

松原 準之祐 (まつばら じゅんのすけ)

担当教科「化学入門」

渡邊 繁 (わたなべ しげる)

担当教科「化学入門」

委託講師 平成24年4月1日付

Stephen Blackmoor (ステイブ ブラックムーア)

担当教科「英語コミュニケーションⅠ」「同Ⅱ」

助手



大内 和美



矢島 克彦



本間 優理亜



宮本 理恵

退職 平成24年3月31日付

教授 阿部 芳首

助手 根本 勢子 篠原 尚子

〈職 員〉

昇任 平成24年4月1日付

財務課長代理 鈴木 和男 (財務課長補佐)

採用 平成24年4月1日付



相談役

村上 秀男



財務課

島田 健晴



財務課

松浦 健治 (7月5日付)

—平成24年7月事務組織一部改編—

平成24年7月1日付

昇任

総務部 施設管理課長 田村 勲 (財務課長補佐)

事務部 学務課長 栗田 佳和 (学務課長補佐)

事務部 学生支援センター学生支援・就職支援課長

金子 俊也 (同センターサブマネジャー)

事務部 入試・広報課長

多田 功 (同センターサブマネジャー)

配置換え

専門学校事務長 曾我 俊男 (事務部学務課長)

事務部 入試・広報課

主任 山口 智史 (専門学校事務室)

事務部 学務課 池野 来未 (専門学校事務室)

所属部署変更

事務部 学生支援センター学生支援・就職支援課

主任 森田 悦子 山本 浩作

入試・広報課

主任 岡田 修一 主任 高山 隆弘

退職 平成24年3月31日付

財務課長 上川 昌利

財務課主任 小船井 恵 (8月31日付)

## 科学費助成事業 (学術研究助成基金助成金)

研究課題：おいしい煮物を作るための呈味成分の食材中への拡散に関する研究

平成23年度に科研費 (基盤研究 (C)) の採択を受けた管理栄養学科橋場浩子教授の平成23年度の研究実施状況報告書 (収支状況報告書を含む) が独立行政法人日本学術振興会へ提出された。本研究は3年間の補助事業期間なので、毎年、実施状況報告書の提出が義務付けられている。

助成金にて購入した高感度機器 (DSC) や電子顕微鏡等をフルに活用し、研究も順調に進捗している様子である。

また、平成23年度には、公益財団法人への研究報告書の掲載をはじめ、東京工業大学、東北大学などで学会発表をされている。

平成24年度には、野菜だけでなく魚肉他についても同様の実験を遂行していくことになっており、益々研究の真髄に触れる機会が多くなると思われる。

## 管理栄養学科の活動

### 4期生（平成20年度入学生）



年間16回実施の総合模試



早朝から夜まで使える自習室での学び

### 第26回管理栄養士国家試験受験ガイダンス（H24. 3月）



\*\*\*\*\*

### 第26回管理栄養士国家試験

（H24.3.18実施）

本学受験者79名中

74名合格

合格率93.7%

全国受験者数；21,268名

全国合格者数；10,480名

全国合格率；49.3%

\*\*\*\*\*

### 5期生（平成21年度入学生）



平成24年度（第5期生）臨地実習報告会（H24.6.23）

# 食品学科の活動

## 新入生宿泊研修〈栃木県日光市〉（平成24年度入学生）

新入生91名を迎えて研修（H24.4.5-6）



日光東照宮にて



学科ガイダンス

## フィールド研修〈長野県伊那市〉（平成24年度入学生）

食品流通の一環を2泊3日で体験（H24.9.4-6）



そば打ち体験



ソーセージ作り体験



サントリー工場見学



シャトレーゼ工場見学

# 学生支援センターの活動

## 学生支援・就職支援

学生支援センターでは、入学時のガイダンスから学生相談、課外活動、奨学金などの経済的支援相談等の学生支援、キャリア・就職支援ガイダンスの実施、就職相談、求人への斡旋等の就職支援、学生を通じた地元

団体との地域共創事業等の幅広い活動を行っている。また、大学への要望の窓口になり、教授会等で検討し、学生の意見を反映するよう努めている。学生支援センターでは、多くの学生の利用を期待している。

### 経済支援奨学金の創設

本学は、今年度、学生の経済的支援の一環として「国の教育ローン」利子補給奨学金を創設した。国の教育ローンとは、日本政策金融公庫が取り扱う教育ローンをいう。

この奨学金は、「国の教育ローン」の借入金（学納金等相当額分）の利子相当額の一部又は全部を奨学金として支給する。

4月に初めての奨学生の受付を行い、4名の奨学生が決定した。詳細については、学生支援センターに相談してください。

### マナー講座

6月25日（月）、本学が実施している『マナー向上運動』の一環として、今年度も新入生を対象にマナー講座を実施した。マナーに関する基礎知識やマナーのポイント等を講義だけでなく実技を含めた講座内容で実施した。和気藹々とした雰囲気の中、学生は楽しみながら熱心に学んでいた。



### 食育イベント

#### 東京都食育フェア

平成23年10月8日、9日に代々木公園にて開催された東京都食育フェアにブース参加し、食品学科の卒業研究の一環としての加工品サンプル配布等を実施した。



### 奨学金授与式

5月17日（木）、入試成績優秀特待生2名、学業成績優秀奨学生11名（2年次生6名、3年次生5名）が選ばれ、福澤学長より奨学金が授与された。



### 業界・企業説明会

3年次生を主対象に2月14日、15日、17日の3日間に亘って、学内業界・企業説明会を開催した。延べ31社の人事担当者が来校され、過去最大規模の説明会となった。今年も、学生は説明会参加企業から多くの内定を頂いている。



### 学生との意見交換会

7月12日（木）、学生代表者12名（1年次生4名、2年次生4名、3年次生4名）と大学代表者14名による意見交換会が行われた。活発な意見交換が行われ、充実した意見交換会となった。



### 面接力アップセミナー

4年次生を対象に、7月9日「選考突破！面接力アップセミナー」を開催した。就職未定者を対象とした、東京しごとセンター講師による実践的セミナーで、学生は真剣な眼差しで受講していた。



### 地域共創

#### （社）全国栄養士養成施設協会後援事業

『聖菜葛飾祭』において、「短時間で自分の食生活の改善策がわかるって本当!？」と題した食事診断を（社）全国栄養士養成施設協会後援（実施責任者：植松准教授、佐川助教、吉田助手）で実施した。

#### （社）フードスペシャリスト協会共催事業

「大学生が考えた新しい加工食品展（卒業制作展）」（実施責任者：井筒教授）を（社）日本フードスペシャリスト協会補助金事業として実施し、「東京都食育フェア」、「聖菜葛飾祭」で出展した。

#### 警察署防犯キャンペーン

6月10日（日）、新小岩駅南口広場にて行われた葛飾警察署「振り込め詐欺被害防止キャンペーン」に地元大学として参加協力した。

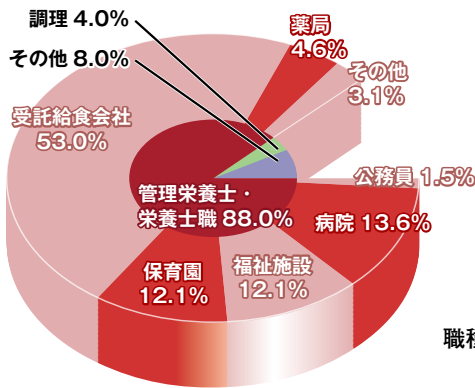




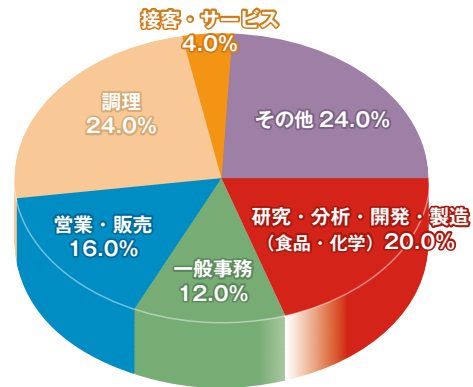
## キャリア・就職データ

### 4期生（平成24年3月卒業生）の就職状況（就職率90.9%）

#### ●管理栄養学科（就職率93.8%）



#### ●食品学科（就職率83.3%）



職種別就職先グラフ

### 平成24年3月卒業生就職結果

4期生（平成24年3月卒業生）の就職率（就職希望者比）は、前年度と同様に厳しい新卒者採用環境において、学部合計で90.9%（管理栄養学科93.8%、食品学科83.3%）となった。管理栄養学科は例年並みの高い数字であったが食品学科は初めて90%を割り込む厳しい数字となった。

本学の就職活動は、学生・保護者・教員・学生支援センターの連携により行っている。卒業生の多くは学業に関連した業種職種に就職しており、卒業生が就職先で大いに活躍することを期待する。

進路・就職結果

	管理栄養学科	食品学科	合計
就職者	75	25	100
就職未内定者	5	5	10
<就職希望者>	<80>	<30>	<110>
進学者	1	2	3
その他	6	7	13
卒業生	87	40	127

### 平成25年3月卒業生就職内定状況

今年度の新卒者就職内定状況は、リクルート(株)等就職情報会社によると、昨年同日比若干改善した数字が発表されている。

本学4年次生の就職内定状況（8月15日現在）は、昨年度とほぼ同率の33.0%である。

学科別では、管理栄養学科が37.1%、食品学科が26.7%と差が大きいですが、昨年同日比では食品学科は内定率が上昇している。食品学科の就職内定率は途中の数字は低く心配されるが、最終の内定率は管理栄養学科を上回る年も多い。

厳しい状況下において就職活動を行う学生の今後の健闘を期待している。大学では、全力で就職支援を継続する。関係者のご協力をお願いいたします。

### 主な就職・進学先

#### 【就職】

<管理栄養士・栄養士職>

(公務員) 東京都栄養士

(病院) (医社) 協友会 船橋総合病院、(社福) 聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院、千葉大学医学部附属病院 (助) 同仁会

(福祉施設) (社福) 勝曼会 特養あすみの丘、(社福) 東京愛育苑 向島学園、(社福) 初穂会 特養稲毛こひつじ園

(保育園) (社福) 東京児童協会 大きなおうち、(社福) ベタニヤホーム、(社福) わかみや福祉会

(給食会社) エームサービス(株)、シダックス(株)、西洋フード・コンパスグループ(株)、(株)セブン&アイ・フードシステムズ、富士産業(株)、(株)レバスト、(株)LEOC

(薬局) (株)カワチ薬品、(株)クリエイトエス・ディー

<研究・分析・開発・製造（食品・化学）> (株)あじかん、カネ食品(株)、トオカツフーズ(株)、(株)ファーストフーズ、わらべや日洋(株)

<調理> (株)王将フードサービス、(株)東急グルメフロント

<一般事務> カセイ食品(株)

<営業・販売> (株)壽食品工業、正栄食品工業(株)

<接客サービス> (株)人形町今半

【進学】 人間総合科学大学大学院

キャリア・就職情報の詳細は本学ホームページ <http://www.tsc-05.ac.jp/> をご覧ください。

# 学友会活動

## 会長挨拶



学友会会長 管理栄養学科3年  
大森 菜穂

今年度新しく学友会会長になりました管理栄養学科3年の大森菜穂です。

今年度の体育祭は皆さんのご協力があり無事に終わりを迎える事が出来ました。

残す大きな行事は大学祭です。体育祭も協力があっ

て終了できたので、大学祭でも皆さんのご協力を期待しています。

皆さんのご協力、ご支援があつての学友会なので至らないところもありますがみんなで頑張っていきましょう！意見や要望があれば学友会ボックスによるしくお願いします。

よりよい大学にしていくために頑張りますのでよろしくお願いします。

## 学友会総会・新入生歓迎会

4月16日(月)、学友会総会が開催され、新役員の選出、23年度決算報告及び24年度予算案、24年度活動計画等が承認され、大森菜穂会長による新体制が発足した。

学友会総会に引き続き開催された新入生歓迎会では、明治大学危機管理研究センター特任教授・首都大学東京名誉教授の中林一樹氏による『力をあわせ、災害を乗り越えるために』と題した特別講演が行われた。



## 聖栄葛飾祭

11月3日(土)、4日(日)に今年の『聖栄葛飾祭』が開催される。今年の『聖栄葛飾祭』では例年と同様に葛飾区の後援や地元自治会の協力等を得て、地元密着の大学祭として開催される。

今年のテーマは「野菜を食べて愛されBody ~ 350g/日~」に決定した。多くの方のご来場をお待ちしております。



## 体育祭

5月28日(月)、船橋グラウンドにて体育祭が開催された。INAクラスとINBクラスが2クラス同点優勝となり学長杯を分け合い、聖栄会より副賞として両クラスに賞金が授与された。晴天に恵まれ、全プログラムが滞りなく終了し、学生・クラスの親交を深めた一日となった。



## 平成24年度 部・同好会一覧

部名	学生代表	
食品加工研究部	管理栄養学科 3年	小野寺 恭介
食品化学研究部	食品学科 3年	竹内 みどり
調理実習部	食品学科 3年	星 憂耶
硬式テニス部	管理栄養学科 3年	塩川 敦司
合気道部	管理栄養学科 2年	小川 詩穂
バレーボール部	管理栄養学科 3年	矢代 早紀
バスケットボール部	管理栄養学科 2年	葩 嶋 杏梨

同好会名	学生代表	
ダンス同好会	管理栄養学科 3年	砂川 紗貴子
バドミントン同好会	管理栄養学科 3年	田中 祐平
軽音楽同好会	食品学科 3年	伴野 隆道
あぐり	管理栄養学科 3年	小池 里美
ソフトテニス同好会	管理栄養学科 3年	佐藤 仁
フットサル同好会	食品学科 3年	石田 晶久
野球同好会	食品学科 2年	七井 大騎
聖栄ビアヘルピングワークス	食品学科 3年	村松 大輝
パン同好会	食品学科 2年	鈴木 翔子
吹奏楽同好会	管理栄養学科 2年	中野 晴加
サッカー同好会	食品学科 3年	高梨 裕子
フェンシング同好会	管理栄養学科 2年	伊東 瑠香

# 後援会・聖栄会の活動



後援会会長  
**篠田 恒夫**

後援会がいつも円滑に運営され、着実に成果を上げておりますことは、諸先輩方のご労苦と教職員の皆様並びに保護者の皆様の理解あるご協力の賜物と存じ、心より感謝申し上げます。

校訓でもある「熱意」「誠意」「創意」の三意の具現化の追い風になる様、また、東京聖栄大学の更なる教育環境の充実、在学生の学力と資質の向上に、後援会活動を通して寄与して行きたいと存じます。

具体的には、保護者と教職員の情報交換会、懇親会、年2回の後援会会報の発行等、皆様と連携をとり活動して参ります。今後とも、後援会の充実発展の為にもご支援、ご指導賜りますよう、お願い申し上げます。

## 後援会の主な活動

### 平成24年度

- 保護者懇親会開催（9月29日（土））  
保護者と教職員の情報交換会
- 後援会報の発行（年2回発行予定）  
9月25日付  
3月15日付
- 会議の開催  
定期総会 4月1日（日）  
役員会 6月9日（土）  
3月下旬  
役員四役会 2月下旬



聖栄会会長  
**荻野 薫子**

昨年の東日本大震災は未曾有の大災害となり甚大な被害をもたらし、被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げます。その1年が過ぎた3月20日に東京聖栄大学第4期生127名の皆様のご卒業され、聖栄会会員としてお迎えすることができました。ご卒業を心からお祝い申し上げます。

管理栄養士国家試験や各種資格認定試験等の合格率向上の成果をあげられ、誠に喜ばしいことです。在学生の皆様方のますますの躍進を願っております。

聖栄会では、体育祭に後援参加させていただいております。大勢で競いあう力を、社会に出てからの糧にしてください。『聖栄葛飾祭』でも餅つきに協賛させていただいています。本年もお茶席を設け、在学生と会員との交流の場としていますので是非ご来場ください。

母校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

## 聖栄会の主な活動

### 平成24年度

- 4月 聖栄会便りの発刊
- 5月 体育祭に後援参加 聖栄会より各賞の贈呈
- 6月 定期総会並びに懇親会の開催
- 10月 第24回食文化研究会の開催  
如水会館にてフランス料理の研修
- 11月 聖栄葛飾祭への参加  
学友会主催の餅つきへの後援お茶席の開催
- 3月 第5期卒業生に卒業記念品の贈呈（役員会の開催）  
全体役員会は年2回開催（10月、1月）  
その他役員会は随時開催

# 平成24年度 公開講座

平成24年度公開講座は、7月に助教・鈴木等先生の小学生対象親子講座「理科実験で色の変化を楽しもう」、9月に准教授・鈴木三枝先生、助教・佐川敦子先生の健康栄養講座「しっかり噛んで口元美人」を実施しました。小学生対象親子講座は、身近な食材を使った理科実験で、参加した子どもたちは楽しんで実験に取り組んでいました。健康栄養講座は「咀嚼（そしゃく）力判定」や「健口（けんこう）体操」を行い、毎日の食事が健康に繋がると好



評を博しました。なお、成人対象の健康栄養講座は、葛飾区で開設している「かつしか区民大学」の講座指定を受けています。

姉妹校の聖徳調理師専門学校では12月に調理実習講座「和菓子 くるみ餅」を予定しています。



## 平成23年度決算報告

学校法人東京聖栄大学

平成23年度の財政状況は、収入面では、食品学科の学生増などにより、学生納付金収入が増加し、また寄付金、補助金なども増収になり、帰属収入は増加した。支出面では、人件費支出は、退職金支出が前年度を大きく下回ったので前年度に比べて、6,000万円近く減額となったほか、教育研究経費、施設設備費などが若干予算超過となったが、消費収支計算書の消費収支差額（消費収入－消費支出）は3700万円の支出超過にとどまり、前年度の支出超過額9800万円を6100万円下回った。また、帰属収支差額（帰属収入－消費支出）は、3100万円の収入超過となり、平成17年度大学開設以来、帰属収支差額比率が初めてプラス（2.4%）となって収支状況は若干改善された。

## 1. 資金収支計算書

平成23年度資金収支の決算規模は、36億8000万円となり、前年度比5億7500万円の増となった。

前年度繰越支払資金を除く当年度の収入額は、18億2400万円であり、これに対する当年度支出額は18億4600万円となった。この結果、次年度繰越支払資金は18億3300万円になり、前年度比2200万円減になった。

資金収支計算書（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）（単位 千円）

	資金収支計算書			
	科目	予算	決算	差異
収入の部	学生生徒等納付金収入	1,010,000	1,018,198	△ 8,198
	手数料収入	21,590	22,480	△ 890
	寄付金収入	6,235	6,825	△ 590
	補助金収入	176,746	176,246	500
	国庫補助金収入	130,757	130,757	0
	地方公共団体補助金収入	45,989	45,489	500
	資産運用収入	17,660	18,267	△ 607
	資産売却収入	400,000	400,054	△ 54
	事業収入	10,500	7,454	3,046
	雑収入	24,630	31,840	△ 7,210
	前受金収入	474,805	457,763	17,042
	その他の収入	184,224	191,702	△ 7,478
	資金収入調整勘定	△ 496,314	△ 507,001	10,687
	前年度繰越支払資金	1,855,367	1,855,367	
収入の部合計	3,685,443	3,679,195	6,248	
支出の部	人件費支出	696,604	694,478	2,126
	教育研究経費支出	242,228	246,784	△ 4,556
	管理経費支出	97,405	93,337	4,068
	借入金等利息支出	3,080	3,080	0
	借入金等返済支出	12,220	12,220	0
	施設関係支出	42,000	43,882	△ 1,882
	設備関係支出	50,686	51,381	△ 695
	資産運用支出	700,000	701,554	△ 1,554
	その他の支出	21,929	20,914	1,015
	〔予備費〕	10,000		10,000
	資金支出調整勘定	△ 20,576	△ 21,914	1,337
	次年度繰越支払資金	1,829,868	1,833,479	△ 3,611
	支出の部合計	3,685,443	3,679,195	6,248

## 2. 消費収支計算書

帰属収入は12億8700万円であり、前年度比900万円増となった。帰属収入から基本金組入額6700万円を控除した消費収入合計額は、12億1900万円となった。これに対して、消費支出の合計額は12億5600万円であったので、当年度の消費収支計算における消費支出超過額（消費収入－消費支出）は3700万円にとどまった。前年度からの繰越消費支出超過額が4億7800万円あるので、翌年度繰越消費支出超過額は、5億1500万円となった。

消費収支計算書（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）（単位 千円）

	消費収支計算書				
	科目	予算	決算	差異	
消費収入の部	学生生徒等納付金	1,010,000	1,018,198	△ 8,198	
	手数料	21,590	22,480	△ 890	
	寄付金	8,935	12,563	△ 3,628	
	補助金	176,746	176,246	500	
	国庫補助金	130,757	130,757	0	
	地方公共団体補助金	45,989	45,489	500	
	資産運用収入	17,660	18,030	△ 370	
	事業収入	10,500	7,384	3,116	
	雑収入	24,630	31,840	△ 7,210	
	帰属収入合計	1,270,061	1,286,741	△ 16,680	
	基本金組入額合計	△ 116,728	△ 67,266	△ 49,462	
	消費収入の部合計	1,153,333	1,219,475	△ 66,142	
	消費支出の部	人件費	680,204	690,358	△ 10,154
		教育研究経費	438,586	443,373	△ 4,787
管理経費		110,912	106,059	4,853	
借入金等利息		3,080	3,080	0	
資産処分差額		5,160	10,478	△ 5,318	
徴収不能額		3,000	2,795	205	
〔予備費〕		6,000		6,000	
消費支出の部合計		1,246,941	1,256,143	△ 9,201	
当年度消費支出超過額		93,608	36,668		
前年度繰越消費支出超過額		477,920	477,920		
翌年度繰越消費支出超過額	571,528	514,588			

### 3. 貸借対照表

23年度末の資産の部合計は94億7800万円となり、前年度末比1500万円増加した。負債の部合計は9億7900万円となり、前年度末比1500万円減少した。

基本金の合計額は90億1300万円になり、前年度比6700万円増となった。消費収支差額の部合計額は支出超過額が5億1500万円で、前年度比3700万円増となった。

貸借対照表 (平成24年3月31日) (単位 千円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産	7,603,409	7,528,934	74,475
有 形 固 定 資 産	5,419,909	5,537,508	△ 117,599
土 地	1,889,400	1,889,400	0
建 物	3,098,371	3,199,173	△ 100,802
その他の有形固定資産	432,138	448,935	△ 16,797
その他の固定資産	2,183,500	1,991,426	192,074
流 動 資 産	1,874,352	1,933,364	△ 59,012
現 金 預 金	1,833,479	1,855,367	△ 21,888
その他の流動資産	40,873	77,997	△ 37,124
資産の部合計	9,477,761	9,462,298	15,463
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 負 債	449,062	465,402	△ 16,339
長 期 借 入 金	146,640	158,860	△ 12,220
その他の固定負債	302,422	306,542	△ 4,119
流 動 負 債	530,092	528,887	1,205
短 期 借 入 金	12,220	12,220	0
その他の流動負債	517,872	516,667	1,205
負債の部合計	979,154	994,289	△ 15,135
基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第 1 号 基 本 金	8,221,292	8,154,026	67,266
第 2 号 基 本 金	661,903	661,903	0
第 4 号 基 本 金	130,000	130,000	0
基本金の部合計	9,013,195	8,945,929	67,266
消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 514,588	△ 477,920	△ 36,668
消費収支差額の部合計	△ 514,588	△ 477,920	△ 36,668
科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部および消費収支差額の部合計	9,477,761	9,462,298	15,463

### 4. 財産目録

資産は、基本財産が61億4300万円、運用財産29億5500万円、収益事業財産3億8800万円で資産総額は94億8500万円である。負債は、固定負債4億4900万円、流動負債5億3000万円、収益事業用負債700万円で負債の部合計は9億8600万円である。

資産総額から負債総額を引いた正味財産は84億9900万円であり、前年度末比3100万円増加した。

財産目録 23年度 (総括表) (平成24年3月31日現在) (単位 千円)

I 資産総額	9,485,154
内 基本財産	6,142,572
運用財産	2,954,781
収益事業財産	387,801
II 負債総額	985,729
III 正味財産	8,499,425

区 分	金 額
資産額	
1. 基本財産	6,142,572
有形固定資産	5,419,910
土 地	1,889,400
建 物	3,098,371
構 築 物	48,828
教 研 機 器 備 品	216,742
その他の機器備品	15,740
図 書	147,676
車 両	3,152
その他の固定資産	722,662
借 地 権	59,900
電 話 加 入 権	860
施設設備拡充引当特定資産	661,902
2. 運用財産	2,954,781
現 金 預 金	1,833,479
定 期 預 金	500,000
有 価 証 券	500,000
差 入 保 証 金	9,028
退職給与引当特定資産	21,400
減価償却引当特定資産	50,000
未 収 入 金	37,893
販 売 用 品	26
前 払 金	2,751
立 替 金	20
仮 払 金	184
3. 収益事業用財産	387,801
土 地	185,313
建 物	178,993
構 築 物	555
機 器 備 品	7
現 金 預 金	22,465
前 払 金	468
資産の部合計 (A)	9,485,154

負債額	
1. 固定負債	449,062
長期借入金	146,640
退職給与引当金	302,422
2. 流動負債	530,092
短期借入金	12,220
未払金	18,737
前受金	457,763
預り金	37,888
研修旅行費預り金	3,484
3. 収益事業負債	6,575
前受金	1,296
未払法人税	279
預り保証金	5,000
負債の部合計 (B)	985,729

正 味 財 産 (資産総額－負債総額)	8,499,425
------------------------	-----------

## 5. 5カ年連続消費収支計算書 (23年度)

平成19年度から23年度までの過去5年間の連続消費収支計算書は右表の通りである。

以上

5カ年連続消費収支計算書 (23年度)

	平成19年度		平成20年度 (完成)		平成21年度		平成22年度		平成23年度		全国平均
	金額 千円	構成比率 %	金額 千円	構成比率 %	金額 千円	構成比率 %	金額 千円	構成比率 %	金額 千円	構成比率 %	医歯系を除く %
<b>収入の部</b>											
学生納付金収入	848,387	76.2	997,526	79.8	988,583	83.4	1,003,922	78.6	1,018,198	79.1	73.4
手数料収入	22,087	2.0	16,229	1.3	17,243	1.5	22,927	1.8	22,480	1.7	2.5
寄付金収入	12,569	1.1	10,242	0.8	7,567	0.6	10,516	0.8	12,563	1.0	2.6
補助金収入	156,617	14.1	154,194	12.3	133,070	11.2	139,212	10.9	176,246	13.7	12.4
資産運用収入	11,290	1.0	21,288	1.7	17,136	1.4	16,953	1.3	18,030	1.4	2.1
資産売却差額	1,066	0.1	0	0.0	0	0.0	105	0.0	0	0.0	0.5
事業収入	26,697	2.4	15,984	1.3	14,428	1.2	8,459	0.7	7,384	0.6	3.4
雑収入	35,025	3.1	34,983	2.8	7,438	0.6	75,799	5.9	31,840	2.5	3.0
帰属収入	1,113,739	100.0	1,250,446	100.0	1,185,465	100.0	1,277,893	100.0	1,286,741	100.0	100.0
基本金組入額	0	0.0	△ 43,420	△ 3.5	0	0.0	△ 63,559	△ 5.0	△ 67,266	△ 5.2	△ 13.4
消費収入合計	1,113,739	100.0	1,207,026	96.5	1,185,465	100.0	1,214,334	95.0	1,219,475	94.8	86.6
<b>支出の部</b>											
人件費支出	663,828	59.6	704,202	56.3	678,503	57.2	748,767	58.6	690,358	53.7	52.9
教育研究経費支出	399,930	35.9	425,455	34.0	422,643	35.7	432,497	33.8	443,373	34.5	30.9
(うち減価償却額)	(193,945)	(17.4)	(191,706)	(15.3)	(190,414)	(16.1)	(190,782)	(14.9)	(195,224)	(15.3)	(9.9)
管理経費支出	229,472	20.6	128,830	10.3	112,258	9.5	117,274	9.2	106,059	8.2	8.8
(うち減価償却額)	(17,896)	(1.6)	(14,703)	(1.2)	(12,784)	(1.1)	(12,930)	(1.0)	(11,533)	(0.9)	(1.1)
借入金利息支出	3,960	0.4	3,739	0.3	3,519	0.3	3,299	0.3	3,080	0.2	0.4
資産処分差額	69,358	6.2	128,830	10.3	15,541	1.3	6,539	0.5	10,478	0.8	2.6
徴収不能額	4,718	0.4	1,320	0.1	534	0.0	3,612	0.3	2,795	0.2	0.1
(予備費)											
消費支出合計	1,371,266	123.1	1,266,485	101.3	1,232,998	104.0	1,311,988	102.7	1,256,143	97.6	95.6
当年度消費収支差額	△ 257,527		△ 59,460		△ 47,533		△ 97,654		△ 36,668		
前年度繰越消費収支超過額	△ 383,718		△ 470,310		△ 529,770		△ 380,266		△ 477,920		
基本金取崩額	170,935				197,037						
翌年度繰越消費収支超過額	△ 470,310		△ 529,770		△ 380,266		△ 477,920		△ 514,588		
人件費依存率		78.2		70.6		68.6		74.6		67.8	72.0
人件費比率		59.6		56.3		57.2		58.6		53.7	52.9
帰属収支差額比率		△ 23.1		△ 1.3		△ 4.0		△ 2.7		2.4	4.4
消費収支比率		123.1		104.9		104.0		108.0		103.0	110.5

※全国平均は日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」大学法人（医歯系を除く）22年度

## 教育研究施設設備拡充資金の募金について

本学は約50年に亘って、「食と栄養」に関する教育研究活動を展開し、栄養、健康など食生活の分野において社会的貢献をしてきましたが、社会の変遷は急を告げ、少子高齢化社会を迎え、いまや介護、医療、食育、食品衛生、食の安全性などに対応する資質の高い人材が求められています。

本学におきましては、こうした社会的要望に応え大学としての社会的責任を果たすためには、教育研究の更なる高度化推進を図る必要があり、教育研究環境整備充実が急務となっています。しかし、少子化などの影響で学生定員割れなどにより私学財政は厳しさが増してきており、施設設備拡充に充当する資金には、学生納付金、国庫補助金などには限度があるので、資金の相当部分は在学生保護者、教職員、卒業生、民間企業など学園関係者からの寄附金に依存せざるをえないのが実情です。

長引く経済不況、加えて東日本大震災、福島原発事故の影響など未だに癒えず、諸事ご多端のところ誠に恐縮に存じますが、事情ご賢察の上、何卒寄附金にご協力下さいませようお願い申し上げます。

なお、寄附金には、所得税法上の所得控除が適用されていますが、平成23年度所得税法の改正により、寄附金控除に減免額の大きい税額控除が導入され、一定の要件を満たした学校法人を税額控除対象法人として、文部科学省が認定することになりました。一定の要件の一つは「過去5年間で3000円以上の寄附を行った寄付者の数が年平均100人以上」となっていますので、できるだけ多数の人が寄付者となって、早期にこの要件を満たし認定法人となり、恒常的に有利な寄附金活動を行って実績を高め、維持継続できる体制を構築したいと考えます。

### 募金要項

1. 目的：教育研究施設設備拡充資金に充当するため。
2. 募金目標額：2千5百万円
3. 寄付金額：1口 5千円（2口以上をお願いします）
4. 募集期間：平成25年3月25日まで
5. 申込書、振込方法：本学園所定の用紙をご利用ください。

◎この寄付金は任意ではありますが、何卒ご協力くださるようお願いいたします。

◎この募金は、税法上所得税の寄附金所得控除の対象となります。

お問い合わせ、ご連絡は下記にお願いします。

学校法人東京聖栄大学事務局財務課募金係

TEL 03-3692-0211(代)

### 募金受入状況

平成17年度以降23年度までの募金受入状況は下表のとおりです。

この募金は、別口座にて積み立てられ募金の趣旨に則り教育研究施設設備充実のために有意義に活用させていただきます。

年度	申込件数	金額 (円)
平成17年度	33	3,150,000
18年度	41	3,750,000
19年度	32	2,700,000
20年度	27	2,500,000
21年度	17	1,600,000
22年度	54	6,465,000
23年度	50	6,790,000
合計	254	26,955,000

# 大学附属 わたなべ幼稚園だより

わたなべ幼稚園では食育に関しての色々な取り組みをしてきました。栄養士による食育指導、子ども達による野菜の栽培、そして収穫を迎えたナス、きゅうり、ピーマン、トマトなどを給食の食材の一部として味を楽しんでいます。

今年度も子ども達と収穫を楽しみ、食材への興味を育て、味覚への挑戦もしてまいりました。そして、その延長として遠足で茨城県にある「ポティロンの森」で親子パン作りに挑戦いたしました。

全園児、保護者の約600名が10台の大型観光バスでお出かけです。幼稚園のある団地の中いっぱいバスが並び、それは壮観です。

天気は晴れ(快晴とまでは行きませんが)絶好の遠足日和。パン作りには慣れているポティロンの森のスタッフ達ですが、300個のパン生地を準備するのは大変だったことでしょう。園児たちは保護者と一緒にパンの成形に一生懸命でした。

遠足に行く前には、粘土あそびを通して、どんなパンを作ろうかと色々な形作りに挑戦していました。

当日は年長組と年中ぺんぎん組とりす組、年少組と年中うさぎ組の2班に別れ、大きなドームの中で成形に取り掛かりま

した。粘土と違ってやわらかく、「あまり捏ねてしまうと焼いたときに膨らみません」とか「アンパンマンのほっぺや、目玉が落ちてしまうからしっかり付けましょう」などパン職人のお兄さんから注意を受け、お母さんと一緒に一生懸命作っていました。

パンが焼けるまでは美味しいお弁当の時間と動物の見学などでひと遊びです。

パンが焼きあがるとドームいっぱいに美味しそうな匂いがたちこめ、自分の作ったパンを見つけるとおしそくに抱えてリュックにしまいこんでいました。

子ども達が作ったアンパンマンや動物パン、怪獣パンはお土産となりましたが、食べるのがもったいないくらいでした。



## 平成25年度 東京聖栄大学 学生募集要項

東京聖栄大学 健康栄養学部(共学)/管理栄養学科・食品学科(募集定員は両学科とも80名)

入試区分	募集人員		選抜方法	出願資格・試験教科等	試験日
	管理栄養学科	食品学科			
A O入試Ⅰ期	—	8名	模擬授業受講感想文・基礎学力検査・面接・調査書	全体の評定平均値不問、一浪可 (出願許可後は第一志望、Ⅰ・Ⅱ期連続受験不可)	9月8日(土)・15日(日)
A O入試Ⅱ期	—	若干名			10月13日(土)
指定校制推薦入試	12名	12名	面接・調査書	高等学校長推薦書、第一志望、評定平均値等は個別の高校宛通知、一浪可	
公募制推薦入試Ⅰ期	18名	10名	適性テスト・面接・調査書	高等学校長推薦書、第一志望、全体の評定平均値不問、一浪可	11月11日(日)
公募制特別推薦入試	若干名	2名			
卒業生子女等推薦入試	若干名	若干名	小論文・面接・調査書	推薦書、第一志望、全体の評定平均値不問、一浪可	
公募制推薦入試Ⅱ期	若干名	4名		高等学校長推薦書、第一志望 全体の評定平均値管理3.5以上・食品3.0以上、一浪可	12月9日(日)
一般入試Ⅰ期	28名	18名		必須:「国語総合(近代以降の文章)」、「英語Ⅰ・英語Ⅱ」 選択:「数学Ⅰ・数学A」、「化学Ⅰ」、「生物Ⅰ」から1科目 ※食品学科のⅡ・Ⅲ期は高得点2科目方式有り(要3科目受験)。	1月29日(火)
一般入試Ⅱ期	10名	10名	学力試験・調査書		2月3日(日)
一般入試Ⅲ期	4名	6名			2月24日(日)
センター利用入試Ⅰ期	6名	6名	平成25年度大学入試センター試験成績・調査書	必須:「国語」(近代以降の文章)、「英語」(リスニングを除く) 選択:「数学Ⅰ・数学A」、「化学Ⅰ」、「生物Ⅰ」から1科目 ※1. Ⅱ・Ⅲ期は2科目成績を利用 ※2. 理科は第1解答科目	1月19日(土) 1月20日(日)
センター利用入試Ⅱ期	2名	4名			
センター利用入試Ⅲ期	若干名	若干名			
社会人特別入試	若干名	若干名	小論文・面接・調査書・経歴書	23歳以上、社会経験者	2月3日(日)

※公募制特別推薦入試は、専門高校・総合学科卒業生選抜入試です。※各入試の詳細は「平成25年度学生募集要項」で確認してください。

### 受験相談会

10/13(土)

10/20(土)

11/24(土)

12/1(土)

■開催時間: 各回とも13:00~16:00 要予約 ■当日の内容: 平成25年度入試の概要説明、個別相談、施設見学 他  
※11月3日(土)、4日(日)は聖栄葛飾祭(大学祭)にて受験相談コーナーを開設します。

＜お問い合わせ先＞

入試・広報課

〒124-8530 東京都葛飾区西新小岩 1-4-6

TEL: 03-3692-0211(代表) TEL: 03-3692-0238(直通)

URL <http://www.tsc-05.ac.jp/> E-mail [nyushi@tsc-05.ac.jp](mailto:nyushi@tsc-05.ac.jp)

## 大学トピックス

### 日本高等教育評価機構 平成23年度大学機関別認証評価結果

認証評価とは、すべての大学、短期大学及び高等専門学校などの高等教育機関は、その教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営及び施設設備等の総合的な状況に関し、政令で定める7年以内に一度、文部科学大臣が認証する認証評価機関の実施する認証評価を受ける制度のことです。

本学は、平成23年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、平成24年3月26日付で、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定を受けました。認定期間は、平成23年4月1日から平成30年3月31日までの7年間です。

この評価結果を踏まえ、教育研究活動のさらなる改善と向上を図り、社会に貢献できる人材育成に努めてまいります。



### 韓国専門大学視察団来校

駐日大韓民国大使館からの依頼を受け、3月15日、韓国国内7つの専門大学（修学年限が2年又は3年制で高度な実務教育を行なっている高等教育機関）の総長等で構成されるWCC（World Class College）総長団の日本視察の受入れを行った。

視察の目的は、本学の教育、特に教育課程、職業技術者の養成状況の視察、及び大学施設の視察・学習を通じて得られたことを、韓国専門大学各校の教育に生かしたいとのことであった。

まず、東京聖栄大学の沿革、教育内容、各学科の説明、管理栄養士国家試験合格率、就職率・就職先の説明等が行われ、WCC総長団からは多数の質問が出され、質疑は予定の時間を超えて熱心に行なわれた。その後、施設見学が行われ、実習室の特徴についての説明や学習内容についての説明が行われた。終始なごやかな雰囲気の中、本学の視察は終了した。



### 東日本大震災被災地支援（福島県塙町）

本学は、平成23年度『聖栄葛飾祭』の東北応援企画にて福島県塙町（はなわまち）にご協力を頂いたことをきっかけに、福島県塙町への支援活動を行っている。

※福島県塙町は、本学の所在地である葛飾区と「災害時における相互応援に関する基本協定」を結んでいる。

平成24年2月には福島県塙町に学友会代表が『聖栄葛飾祭』で集まった義援金を持参し、菊池基文塙町長に寄贈目録を手渡した。（表紙写真）

また、平成24年7月には本学4号館近くに福島県塙町が震災からの復興のための取り組みの一環として、「ダリちゃんショップ」をオープンさせた。オープニングセレモニーには福澤理事長・学長をはじめ本学関係者も出席した。

今後も、本学の特性を活かした「特産品を活用した新しい食品の開発」などを通して、被災地支援を継続して実施する予定である。